

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 19 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名		角館公民館活動推進事業費				
担 当 課 係 名		角館公民館 課		係	作成者	佐藤英作
総 合 計 画 で の 位 置 づ け	施策の大綱	明日を担う人材を育む教育文化の町				総合計画の ページ
	基本計画	生涯学習の推進と社会教育施設の整備				
		主要施策	社会教育活動の充実			
予 算 費 目		一般 会計	10 款 教育費	5 項 社会教育費	2 目	公民館費
事 業 期 間		平成 年度 ~ 平成 年度		新規 / 継続の区分		継続
性 質 区 分		☒ 市民サービス ☐ 公共事業 ☐ 施設維持管理 ☐ 補助金 ☐ 内部管理				
根 拠 法 令 等		地方教育行政の組織及び運営に関する法律・社会教育法				
事 務 区 分		☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務				
運 営 方 法		☒ 直 営 ☒ 直営（一部民間委託） ☐ 民間委託(全部) ☐ 補 助				

【事務事業の実施内容】

事業の対象 （誰のため・何を）	市内の住民のため生涯学習を推進するため。
事業の目的・意図 （どういう状態にしたいのか）	自主学習グループの育成及び生涯学習の根幹である「自ら学ぶ姿勢」を養成するため。
事業の内容 （どのような業務、活動を行うのか）	市民の多様なニーズに応えるため、学識経験者や人材リストを活用し各教室・講座・サークル活動を通じて自己学習の手助けをし、自己学習の奨励を進めている。

【事務事業の推移】

（単位：千円）

		項 目		単位	18年度実績	19年度実績	20年度実績	
効果	活動指標	角館公民大学受講生		人数	198	193		
		各種サークル活動団体		件数	38	41		
	成果指標	角館公民大学各学科延活動回数		年回数	139	138		
投下コスト	項 目		総事業費		18年度決算額	19年度決算額	20年度決算額	
	事業費（人件費を除く）(A)				1,462	1,376		
	財源内訳	国 庫 支 出 金						
		県 支 出 金						
		地 方 債						
		そ の 他						
		一 般 財 源				1,462	1,376	
		人 件 費 (B)		—		7,853	8,071	
		職 員 数		—		1.0	1.0	
		職 員 平 均 人 件 費		—		7,853	8,071	
	(A) + (B) 投下コスト		—		9,315	9,447		
	単位コスト	活動指標1単位当たりコスト (円)		—		47,045	48,948	
				—		245,132	230,415	
市民1人当たりのコスト(円)		—		292	301			

【事務事業の今までの成果】

公民館主体事業として行っている事業はあまり多くないが、教室・サークル活動等自主運営で行っている団体及びが年々増加しており、多様化する住民の学習ニーズに手助けしている。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	年々、公民館を取り巻く社会状況は、予算的にも、人員配置でも厳しくなっており、また合併により類似施設等が多くなり民間委託制度導入という流れになっているようです。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	概ね良好である。

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性		判 定 に 至 っ た 理 由
A	A	現状のまま継続（実施）	
	B	見直しの上で継続（実施）	
	C	大幅な見直しの上で継続（実施）	
	D	休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	

一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
A	生涯学習の自主学習グループの育成図るためにも、学習機会の場の提供は引き続き必要と考える。

一次評価診断図

